みんなで防ごう土砂災害

土砂災害防止月間 6/1→30

がけ崩れ防災週間 6/1▶7

平成26年度土砂災害防止についての

絵画・作文を募集します

土石流、地すべり、がけ崩れなどの
土砂災害のようすや砂防しせつ
（砂防えん堤など）を見学したときに
見たこと、感じたこと、考えたことを
ドンドン送ってください。

応募について

内容・大きさ
絵画のかき方、大きさは自由。作文は400字詰めの原稿用紙で
小学生低学年は2枚程度、高学年は4枚程度、中学生は5枚程度。
どちらも未発表のものに限ります。

応募期間
6月1日～9月15日まで

応募資格
小学生・中学生

送り先
あなたの住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学年を記入し、
都道府県庁砂防主管課
「土砂災害防止に関する絵画・作文募集」担当あて

賞
最優秀賞／優秀賞

発表
平成27年2月中旬

表彰
平成27年3月中に国土交通省又は各都道府県において行います。

平成25年度の入賞作品は国土交通省砂防部Webサイトをご覧ください。
http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/kaiga_h25.html

どしゃさいがいのようす

土砂災害ってなに？

台風や大雨、地震等が引き金となって、山やがけが崩れたり、土や石が水と一緒になって川から流れ出たりすることで、私達の命や家屋などの貴重な財産を一瞬にして奪ってしまう災害です。

がけ崩れ（斜面崩壊）

急な斜面が崩れる

- 大量の雨が地中にしみ込むと起きやすい。
- 大雨の時に一瞬のうちに起こることが多いため、逃げ遅れて助からないおそれもある。
- 雨が止んだ後に起こることもある。雨が止んでも注意が必要。

土石流

山から崩れた土や石が、水といっしょになって、ものすごい勢いで流れ下ってくる

- 大雨が発生の引き金になる。梅雨や台風の時期は特に注意。
- 速いときは時速40キロ以上。大きな岩も流してしまう。
- 雪どけ水や河道閉塞の決壊で発生することもある。

地すべり

やや傾斜のゆるい斜面が、広い範囲にわたってかたまりのまま動く

- 雨水や雪どけ水が地中にしみ込んで起こる。
- 家や田畑といっしょに大地がゆっくり動くこともあり、突然一気に何十メートルも動くこともある。
- 地震が原因で起こる地すべりもある。

河道閉塞（天然ダム）

崩れた土砂が川をせきとめる

- 地すべりやがけ崩れの土砂、土石流で流れてきた土砂が、ダムのように川をせき止める。
- 天然ダムの上流側は湖のように水がたまり、家や田畑が水につかる。
- 天然ダムはやがて、たまった水の力で一気に崩れ、下流に土石流が押し寄せる。

がけ崩れの前ぶれ

❶ がけから小石がパラパラ落ちてくる。
❷ 樹木がゆれたり、かたむいたりする。
❸ 斜面から水がわき出る。
❹ 斜面にひび割れができる。

避難所への移動が困難な時は、がけから離れた部屋や2階などに避難しよう。

こんな変化に注意

土砂災害の前ぶれ（前兆現象）

身のまわりでこんな現象が起こったら、すぐに近所の人や役場に知らせ、安全な場所に避難しましょう。特に大雨が降っているとき、降ったあとは要注意です。

土石流の前ぶれ

❶ 川や沢の中でゴロゴロという音がしたり、火花が見えたりする。
→上流の山が崩れ、大きな石がぶつかり合いながら流れてくるため。
❷ 川や沢の流れがにごり、生木が流れてくる。
→上流の山が崩れて、土砂や木が川や沢を流れているため。
❸ 山鳴りがする、異常なにおいがする、地鳴りがする。
→上流で山が崩れているため。
❹ 雨がふり続いているのに川や沢の水が減る。
→上流の川や沢が崩れた土砂でせき止められているため。土石流の危険がせまっている。

土石流から逃げる時は、川から離れてなるべく高い所にあがろう。

地すべりの前ぶれ

❶ 池の水がにごったり、減ったりする。
❷ 山の樹木がザワザワとさわぐ。木の裂ける音や木の根が切れる音がする。
❸ 地鳴りや山鳴りがする。
❹ わき水がふえる。
❺ 地面にひび割れや段差ができる

⚠ ここにあげたのは前兆現象の一例です。このほかにも「いつもと何か違う」と感じたら、都道府県や市町村、近所の人に知らせて安全な場所に避難してください。危険な場所や避難する場所は、市町村から配布されるハザードマップ等で確認してください。

近所にこういう看板はないですか?

このような看板が立っているところは、土砂災害の危険が大きい場所です。特に注意しましょう。

- 「土石流危険渓流」の看板 →土石流の危険がある川や沢
- 「急傾斜危険区域」の看板 →がけ崩れの危険がある急斜面
- 「地すべり防止区域」の看板 →地すべりが起きやすい区域